

全山をビラで包むゾ



発行所
三池炭鉱労組組合
大牟田市不知火町2
電話 ③3033番
③3034番
編集人 山下 開
半年間1,000円 送料共

平和協定を破棄して

大幅賃上げの獲得へ

全職場・地域にあふれる意欲

炭労がすすめる春闘も、いよいよ実力段階を迎えてうねりが大きくなってきた。三池の足りもはげしさを加えた。各指導部を通じて見る職場・地域の組織も大きく動いている。いまこそ全炭鉱労働者の前進を長く阻害しつづけてきた「平和協定」を破棄し、三池新労組と組合なまの結合を強め、そして炭鉱労働者といふべき賃金・労働条件の獲得をめざしている。「とにかく、三池全山を宣伝ビラで包むぞ」と、全指導部に見る意欲はあふれんばかり。

宮浦指導部

具体策が十日の職場分合衆会議でまとまったばかりというのに、早くも宮浦指導部では、賃上げを中て猛烈な活動。

心とする全春闘要求の実現と、三池新労組が資本にスト権を売り渡している「平和協定」の破棄を目標とし、職場・地域の全組織をあげて活動。

四山指導部

このでも具体的活動は、宮浦指導部とは同じ。

「政府・独占のガイドラインをハネ返すには、何となくも職場体制を強めること、平和協定の破棄。

炭鉱資本は、三池の労働力の大部分を占め、さらに全炭鉱組織の過半数でもある三池新労組を、三井を先頭に立てておさへておくと、全炭鉱労働者の要求全体を低くおさへ、思う存分超過利潤を占めようとしてきた。すでに肝炭の山はスカラカンになった今でさえ、賃金・労働条件を改善するなどの考えはない。とにかく、平和協定の破棄が先決」

三井指導部の指導である。

三井指導部

ここでの特徴はといえば、「ワンマン方式を軸に活動をすすめるが、春闘をすすめるが、

中央委、政策 春闘で決意

三池労組は十日に開催した中央委員会で、七五年政策春闘に関する炭労のこれからたたかひの推進について確認し、重大決意をも

つてたかひを決定した。

(別項を参照のこと)

同中央委員会は右のほか、選挙闘争結果、会社が明らかにした五〇年度生産計画をめぐる問題、福利闘争の経過、それに零片材料線(三井炭坑内火災発生現場で、火

災のまん延を防ぐためとして、火災発生直後閉鎖されている)の充填し入れなどについて討論を行い、それぞれ今後の対処方針を確立した。

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

「炭鉱は景気よかれ。ホクホクじゃあない」

職場新聞「はぐるま」主張

「三月度の物価上昇は一四・一セントしか上昇していません。不況であまり物価も上がらないから、大幅賃上げは甘んじよう」という。

今年二月で、三井東洋化学では十七年勤続で二十三方満勤で月収の十三万五千円。残業、公出はまったくなし。

一週間おきに十一日曜日が連休です。これは一例ですが、私たちがいかに低賃金であり、やむを得ず生活を時間外労働による収入でカバーしているのです。

鉄鋼・造船、それに金属関係労組が一五・一セントの低額回答です。要するに、これらを含め、四月末で、二万五千円以上の回答が三百七十四単産、二万四以上が八百九十三単産で、いかに政府と資本がぐるりになってはげしくぶつばしに出てきているか、がうかがわれます。

消費者物価指数が生活全体に大きく影響する食料、その中でも青果については、政府は農林省にはばを掛けてホーレン草などの増産に金を出したり、バナナ、冷凍魚、卵などのストックを確保し、適当に放出させたり、かつてやっていたことのないようなことをやってまで、三月価格を安定させ、

打ち破ろう ガイドラインの15%

値上げは目前にひかえている!

私たちが直轄工だけでなく、社外工のなかまたちの低賃金生活の苦しみをもともに打破しなければならず、そのためにも炭労の賃上げ要求一万二千五百円(三池新労のそれは一万八千二百円)を、私たちがどうしてもたたかひたいならなければならないのです。

三井指導部坑外職場分合衆新聞「はぐるま」NO・八七(五月十五日発行)の記事。

※ ※

炭労、実力闘争へ

炭労は「一万二千五百円」の賃上げを軸とする要求を、かか

すでに中間委員会でもきまったストライキは、二十日二十四時間、二十三日二十四時間、二日二十四時間、以後毎週間短縮要求など、耳をかすけはく火水、金土に四十八時間ストを反響して行く計画。